

2024年9月29日

8:12,13 ですから、兄弟たち、私たちは負債を負っています。ただ、それは肉に対するもの、肉に従って生きるというものではありません。 というのは、もし、肉に従って生きるなら、あなたがたは死ぬことになっているからです。しかし、もし御霊によって からだの行いを殺すならば、あなたがたは生きます。

8:14,15 神の御霊に導かれている人は誰でも、神の子ども(息子)です。それは、あなたがたが、再び恐怖に陥れる奴隷の霊を受けたからではないからです。

そうではなく、息子とされる(の立場を与える)霊を受けたのです。それによって私たちは『アバ、父』と呼びます。

8:16,17 御霊ご自身が私たちの霊とともに証ししてくださいます、私たちが神の子ども(テクナ)であることを。

そして、もし子どもであるなら、相続人でもあります。それは神の相続人、キリストとの共同相続人でもあります。 それは、私たちが主と苦難をともにしているからですが、それは主とともに栄光を受けるためでもあります。

8:18,19 私は、今の時の数々の苦しみは比較に値しない(取るに足りない)ものと見做しています、やがて私たちに現わされ(啓示され)ようとしている栄光を思っていることですが。 それは被造物が切実な期待によって、神の子(息子)たちの現れを待ち望んでいるからです。

8:20,21 それは被造物が虚無に服したのは、自分の意思からではなく、服従させた方によるものなので、彼らには望みがあるからです。

それはまた、被造物自体も、滅びの束縛(隷属)から解放され、神の子どもたち(テクナ)の栄光の自由にあずかることになるためです。

8:22,23 私たちは知っています。被造物のすべては、ともにうめています、またともに産みの苦しみをしています、今に至るまで。 そればかりか、御霊の初穂を受けている私たち自身も自分の中でうめています、子(息子)とされる(の立場とされる)こと、すなわち私たちのからだが贖われることを待ち望みながら。

8:24,25 それは、望みにおいて私たちは救われたからです。目で見える望みは、望みではありません。目で見ているものを、誰が望むでしょう。 しかし、まだ見

ていないものを望んでいるのですから、私たちは忍耐をとおして待ち望みます。

< 関連箇所翻訳 >

7:25 なんとみじめな人間なのでしょう、この私は。だれがこの死のからだから私を救い出してくれるのでしょうか。

8:5,6 それは、肉に従う者たちのうちにあつては肉に属することを考え、御霊に従う者は御霊に属することを考えるからです。それは、肉の思い(考え)は死ですが、御霊の思い(考え)はいのちと平安だからです。

創世記 3:6 エバが「善悪の知識の木」を見た時の気持ち 「その木は食べるのに良さそうで、目に慕わしく、またその木は賢くしてくれそうで好ましかった。」

6:12,13 それゆえ罪(単数形)が支配してはいけません、あなたがたの死ぬべきからだを。それは情欲の中_{から}からだを服従させないためです。またあなたがたの肢体(五体、手足)を不義の道具として罪(単数形)に献げて(贈り物にして)はいけません。むしろ自身を、死者の中から生かされた者として、神に献げなさい。またその肢体(五体、手足)を義の道具として。

詩篇 2:8 神はキリストに向かって「わたしは国々をあなたへのゆずり(相続)として与える。地の果ての果てまであなたの所有として」と言われた。

ルカ 9:23 イエスの弟子たちへのことば 「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい」

ルカ 14:27 「自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません」

伝道者 1:2,3「被造物が虚無に服し」の「虚無」はヘブル語の「空(くう)」と同じ「空の空。すべては空。日の下でどんなに労苦しても、それが人に何の益になるだろうか」

イザヤ 11:6-10 預言されたダビデの子、新しい王によって実現する世界 「狼は子羊とともに宿り、豹は子やぎとともに付し、子牛、若獅子、肥えた家畜がともにいて、小さな子どもがこれを追って行く(導く)・・・乳飲み子はコブラの穴の上で戯れ、乳離れした子は、まむしの巣に手を伸ばす。 わたしの聖なる山のどこにおいても、これらは害を加えず、滅ぼさない。 主(ヤハウェ)を知ることが、海をおおう水のように地に満ちるからである。その日になると、エッセイの根はもろもろの民の旗として立ち、国々は彼を求め、彼のとどまる場所は栄光に輝く」